IEEJ Industry Applications Society News Letter

電気学会産業応用部門（D部門）ニュースレター 2016年1月号 (<http://www2.iee.or.jp/ver2/ias/nl/>)

電子投稿・査読システムの立上げから10年、そして編修長...

Ten Years from Starting up Paper Management System, and Editor-in-Chief...

電気学会 産業応用部門誌 編修長

村上 俊之（慶應義塾大学）

Toshiyuki Murakami (Keio University)

Editor in Chief, IEEJ Transactions on Industry Applications

2015年6月より産業応用部門誌（和文論文誌）の編修長に就任いたしました。論文委員会には意図せず長くかわりを持って参りました経緯で、今回の編修長という大役を仰せつかったと思っております。10年前の電子投稿・査読システムの立上げ経緯等（表1）も思い起こしながら、今後の方針について考えてゆければと思う次第です。

2004年3月にD2グループの主査を退任した直後、D部門の組織改善の一環として定められた論文投稿・査読システムの電子化について、たまたま小職の方にその担当のお願いをいただきました。主査退任直後で、投稿・査読フローも熟知？している、また電子化へのアレルギーが比較的少ない等の理由でのご指名と予測しましたが、少しばかり面白そうでしたので、知識・技術不足の感を持ちながらも、情報処理関係に強い同じ職場の西宏章先生を巻き込みながらお引き受けしました。正式には2004年5月、電気学会で長年行われてきた紙ベースのアナログシステム処理による論文投稿・査読システムの電子化を行うべく、電子投稿・査読システム検討ワーキンググループの委員に就任しました。この電子化の主な目的は次のようなものでした。

1. 郵送による論文処理時間の遅れ解消と査読期間の短縮（事務処理の簡略化）
2. 査読者負担情報に基づいた査読者選定の効率化
3. 著者・論文委員のデータベース管理による新分野に応じた査読者層拡充（外国人を含む）
4. 技術委員会との連携（論文幹事の専門領域の明確化）
5. 論文委員会の開催回数の低減（遠方からの論文幹事の選出が容易）

上記に加えて、主査・幹事の役割の明確化（判定処理フローが事務的なものに陥ることなく、主査・幹事の判断を反映しやすい判定フローとする）、また査読フローの透明化等も含まれていたかと思います。そうした上で、投稿しやすく、国際化の荒波にも耐えうる魅力的でかつ質の高い論文誌をつくり上げようとする方向性があったと理解しています。こうした思惑は実現したのでしょうか？最も重

要と思われる論文投稿数の推移を見てみますと、表2にある10年前の論文投稿・掲載数との比較から、年毎に見れば細かい変動（表では省略）があるものの、10年全体で見ると投稿数は確実に右肩上がりになっています。一方で、それに伴う掲載数の伸びが少ないことから、楽観的な解釈では、論文の質はある程度維持されつつも投稿数が伸びていることになり、当初の目的は達成されているように見えます。ただし、昨今のIF（インパクトファクタ）による評価の導入で、IFの高い論文誌への投稿が好まれ、必ずしも楽観的な状況とは言えず、分野によっては投稿数減少の兆候が見られることは否めません。これは論文の質にも関わるものであり、この状況を改善すべく、IF取得を目的とした部門独自の英文誌が2013年7月に創刊されました。英文誌の立上げにより、IFの取得を優先しつつ、グループ（分野）に応じて、和英どちらの論文誌へ優先的に投稿すべきかのすみ分けを行っています。こうしたすみ分けにより生じる和文誌の衰退は是非とも避けたいと考えています。電子化により、部門を跨いだシステムの統括も行え、ある意味で多様性（論文誌間の連携等）が増しています。和英論文誌の連携を含め、両論文誌の同時活性化を如何に進めていくかを今後とも真剣に考えたいと思っている次第です。

最後に、様々な形で論文委員会にお力添えをいただいている関係者に本紙面をおかりして深く感謝申し上げます。

表1 電子投稿・査読システムの立上げ経緯

年 月	事 項
2004年5月	電子投稿・査読システム検討ワーキンググループ 発足
2004年10月	電子投稿・査読システムの試行運用開始
2006年1月	電子投稿・査読システムの本格運用開始
2012年10月	電子投稿・査読新システムの運用開始
2013年7月	D部門英文論文誌創刊

表2 論文投稿数・掲載数の比較（部門英文誌を含む）

事 項	2004年	2014年
論文投稿数	203	371
論文掲載数	151	175